

第5学年 国語科学習指導案

児童 5年1組 男20名 女10名 計30名

- 1 単元名 人物の考え方や生き方をとらえよう
教材名 「わらぐつの中の神様」 (光村図書 5年下)

学習指導要領 第5・6学年<読むこと>

- ・目 標：「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」
- ・主たる指導事項：「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」<読(1)エ>

2 単元について

(1) 児童について

児童は、これまでに「新しい友達」では、人物の行動や会話文をもとにしながら登場人物の心情の変化を読み取る学習を行った。また、「サクラソウとトラマルハナバチ」では、文章構成や文末表現に着目しながら要旨を捉え、その要旨をもとに筆者の主張を読み取り、それに対する自分の考えをもつ学習を行った。さらに、「千年の釘にいどむ」では、叙述をもとに、自分の思いや考えの根拠をはっきりさせて読んだり、テーマを決めて本を読み、内容や感想を交流したりしながら、読書の世界を広げ深める学習を行っている。

これらの学習を通して、言葉や文章に着目し、文章の構成を考えながら要点を捉えたり、課題に対するまとめを考えたりすることができるようになってきた。しかし、課題に対して読み取ったことを自分なりの言葉で積極的に表現したり、その根拠となる部分をはっきり示したりすることが、まだ十分とは言えない。

(2) 教材について

本教材は、雪国に暮らす家族の温かい心の通い合いを描いた作品であり、「現在(前半)」－「過去」－「現在(後半)」という三つの場面から構成されている。現在の場面では、マサエと家族のやりとりで物語が展開し、過去の場面では、孫のマサエがおばあちゃんから聞く「わらぐつの中の神様」についての昔話で展開していく。

現在(前半)の場面では、マサエとおばあちゃんのわらぐつに対する認識のちがいがあったが、過去の場面では、おみつさんや大工さんの物の見方や考え方に触れ、自分の価値観が揺さぶられていく。そして、現在(後半)の場面では、おみつさんと大工さんは、自分の目の前にいるおばあちゃんとおじいちゃんだということに気づき、驚きと感動を覚える。こうして物語が進んでいく中で、マサエ自身の物の見方や考え方が変容していく。同年代である子どもたちにとっても、マサエの気持ちに寄り添いながら物語を読み進めていくことができるものと考えられる。したがって、時代が行き交う構成の面白さや豊かな表現などから、登場人物の人柄や考え方や、生き方を豊かに読み取らせるための指導に適した教材であるといえる。

(3) 指導に当たって

第1次では、題名読みから始め、「わらぐつ」や「神様」についてのイメージを語らせ、興味・関心をもたせたい。そして、全文を読み通した後に感想を書く活動を行う。その際、読む前に単元名の「人物の考え方や生き方をとらえよう」を再確認し、中心となる登場人物への感想を主に書かせるようにしたい。さらに、初発の感想をもとに課題作りを行う。児童が主体的に取り組めるよう、できるだけ児童の側から出された学習課題を大切にし、学習の見通しをもたせたい。

第2次では、叙述をもとに表現の美しさや温かさを味わいながら、登場人物の心情の変化について言動を中心に読み取らせていきたい。その際、課題に対して読み取ったこと書き込んでいく活動を取り入れたり、話し合う活動を取り入れたりしながら、一人一人の考えを広げたり深めたりしていきたい。

第3次では、題名「わらぐつの中の神様」を振り返りながら「神様」の意味について話し合い、

感想を書く。その後、全体で感想を交流し合い、登場人物の考え方や生き方に迫っていきたい。

3 指導目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・ 物語の温かさに引かれて、心に残る言葉や文章、情景や場面を楽しんで読もうとする。

【読むこと】

- ・ 叙述に即して、登場人物の人物像や心情の変化、場面の情景を読み取ることができる。
＜読（１）エ＞

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・ 方言と共通語の違いを理解し、それぞれのよさを感じ取っている。
＜伝イ（イ）＞

4 指導計画（9時間） 読む 9時間

段階	時間	学 習 活 動	評 価 規 準
第1次	1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全文を読み、初発の感想を書く。 ・ 新出漢字や難語句について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 話の粗筋を捉え、意欲的に感想を書いている。 ＜読（１）エ＞
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習の見通しをもち、学習課題を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の様子や主人公の心情を読み取るための学習課題を設定している。 ＜読（１）エ＞
第2次	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ マサエとおばあちゃんのわらぐつに対する見方や考え方の違いを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらぐつの見かけにこだわるマサエとよさに目を向けているおばあちゃんの見方や考え方の違いを読み取っている。 ＜読（１）エ＞
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんの雪げたに対する思いを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪げたに対する憧れの気持ちと欲しくても買えないおみつさんの状況を読み取っている。 ＜読（１）エ＞
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらぐつ作りをするおみつさんの姿からおみつさんの人柄を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんのわらぐつに込めた思いから、おみつさんの人柄について読み取っている。 ＜読（１）エ＞
	6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めて自分の作ったわらぐつを売るおみつさんの心情の変化を読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めてわらぐつが売れるまでの、おみつさんの心情の変化を読み取っている。 ＜読（１）エ＞
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんと大工さんのわらぐつや仕事に対する思いや考え、心の通い合いを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大工さんの仕事に対する考えと、おみつさんのわらぐつ作りに込めた考えとの共通点や心の通い合いを読み取っている。 ＜読（１）エ＞
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ おばあちゃんの話聞いて、マサエの心情がどのように変化したかを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の初めの部分と話を聞いた後のマサエの考え方や心情の変化を読み取っている。 ＜読（１）エ＞
第3次	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読み取ったこと振り返り、感想を交流する。 ・ 方言のよさを話し合う。 ・ 単元の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の会話や行動から、人物の考え方や生き方をまとめ、感想を交流している。 ＜読（１）エ＞ ・ 方言よさを感じ取っている。 ＜伝イ（イ）＞

5 本時の指導

(1) 目標

初めて自分の作ったわらぐつを売るおみつさんの心情の変化を読み取ることができる。

(2) 指導に当たって

① 対話について

わらぐつがなかなか売れず、自信をなくすおみつさんの心情が分かる文や言葉に着目させ、それをもとに読み取ったことを交流するためにペアで対話する。このような対話活動を行うことにより、相手に伝える場を保障し、自分の考えを明確にしたり、相手の考えを理解しようとしたりすることができ、一人一人の考えが広がったり深まったりすると考える。

② 学び合いについて

自分の考えや対話で得た他の考え方を全体で交流しながら、わらぐつが売れた時のおみつさんの心情について練り合っていく場としたい。さらに、その意見交流をもとに、課題に対するまとめを作り上げる場としていきたい。

(3) 展開

段階	時間	学習内容と活動 活動(・) 主発問(○)	指導上の留意点(・)と評価(◎)
見通す	4分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> なぜ、おみつさんは、若い大工さんをおがみたいような気がしたのだろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> おみつさんの人柄とおみつさんの作ったわらぐつは「変な格好」だが、「丈夫」であることを確認する。また、「雪げたが欲しくて」という目的も確認する。 「売れる前～。売れた時～。だから、若い大工さんをおがみたいような気がした。」というまとめの書き方例を示し、見通しをもって学習できるよう確認する。
深める	37分	3 本時の学習場面を音読する。 ・指名読み 4 学習課題を解決する。 (1) 自分が作ったわらぐつを売りに行く時のおみつさんの心情を読み取る。 ○ おみつさんは、どんな思いで朝市に出かけたのでしょうか。 (2) わらぐつを売っている時のおみつさんの心情を読み取る。 ・書き込みをする。 ・ペアで対話する。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習場面の確認と課題解決の見通しをもつために、指名読みを指示する。 課題解決のために「売りに行く前」「売っている時」「売れた時」について学習していくことを確認する。 わらぐつが売れることを期待しているおみつさんの心情を確認する。 わらぐつが売れず、がっかりしているおみつさんの心情を押さえるようにする。 お客さんだけでなく、若い大工さんの言動からも読み取れることを確認する。 考えやすい所から書き込みをするよう指示する。
T : 読み取ったことを対話します。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【モデルを示す。】</p> <p>① 話し手は、「僕は、○○という言葉(文)から□□と思います。それは、△△だからです。」</p> <p>② 聞き手は、「私は、その考えに賛成(反対)です。私は、○○という言葉(文)から□□と思います。それは、△△だからです。」</p> <p>③ 似ている点・違う点の確認や質問</p> </div>			

深 め る	37 分	<p>C₁: 僕は、「わらまんじゅう」という言葉から、おみつさんはすごく恥ずかしくな ったと思います。それは、わらぐつとして見てもらえなかったからです。</p> <p>C₂: 私は、その考えに賛成です。私は、「不細工なわらぐつを見つめました。」とい う文から、おみつさんは、自分のわらぐつに自信がなくなったと思います。それ は、全然売れなかったからです。</p> <p>C₁: 自分のわらぐつに対して、恥ずかしくなったり自信がなくなったりしたんだね。</p>	
		<p>(3) 初めてわらぐつが売れた時の おみつさんの心情を読み取る。</p> <p>○ なぜ、おみつさんは若い大工 さんをおがみたいような気がし たのでしょうか。</p> <p>・ 全体で交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ わらぐつが売れて、とても嬉しく思っているお みつさんの心情を押さえるようにする。 ・ 「おがむ」ということから、普通の喜び方では ないことを確認する。 ・ 以下の3点について押さえるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ① 初めて編んだ不格好なわらぐつが売れた事。 ② わらぐつを買ってくれた若い大工さんの事。 ③ 雪げたを買うという夢に一步近づけた事。
		<p>(4) 課題のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習を振り返りながら、まとめの書き方 例を参考に、ノートに記入するよう指示する。 ◎ 全体での話し合いを通して、新たに気づいたこ とや友達の考えのよい所を取り入れてまとめてい るか。
		<p>売れる前は、「自信があったのに全然売れない。やっぱりこのわらぐつでは雪げたは 無理かなあ。」と売れる自信がなくなっていた。しかし、売れた時は、「初めて作った わらぐつが売れた。これで雪げたに近づけた。若い大工さんは神様みたいだ。」と感謝 の気持ちでいっぱいだったと思う。だから、若い大工さんをおがみたいような気がした。</p>	
ま と め る	4 分	<p>5 本時の学習を振り返る。</p> <p>・ 役割読み</p> <p>6 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おみつさんの心情の変化を想像しながら音読し たり、聞いたりするよう指示する。 ・ おみつさんと大工さんのわらぐつや仕事に対す る思いや考え、心の通い合いについて学習するこ とを確認する。

< 具体の評価規準と支援 >

A: おみつさんのわらぐつに込めた思いや人柄を考えながら、おみつさんの心情の変化に対して、自分の考えをもっている。

B: おみつさんの心情の変化に対して、自分の考えをもっている。

C児への支援: わらぐつが売れるまでの、おみつさんの心情の変化が分かる文や言葉を取り上げ、「自分だったら」と置き換えながら考えるよう支援する。

(4) 板書計画

わらぐつの中の神様

杉 みき子

なぜ、おみつさんは、若い大工さんをおがみたいような気がしたのだろう。

売りに行く前

- ・わらぐつが売れそうな自信。
- ・雪げたが買えそう。期待。

売っている時

お客さん

- ・くすくす・あきれた顔
- ・わらまんじゅう
- ・あけすけなこと
- ・「やっぱり、わたしが作ったんじゃないや、だめなのかなあ。」
- ・がっかりして、不細工なわらぐつを見つめました。
- ・あきらめてもう帰ろう

若い大工さん

- ・きまりが悪くなって
- ・「あんまり、みっともよくねえわらぐつでー。」
- ・赤くなりながら、おずおずと
- ・「初めて作ったもんで、うまくできねかったけどー。」

売れた時

- ・わらぐつが売れた、ありがたい。
- ・雪げたに一步近づけた。
- ・大工さんに感謝したい。

まとめ

売れる前

わらぐつに自信があった。欲しかった雪げたを買うことができる。
全然売れない。雪げたは無理だとがっかり。

売れた時

雪げたに近づけた。若い大工さんは神様みたいだと感謝の気持ち。わらぐつが売れた。

- ・一所けん命作ったのに。
- ・はずかしい
- ・自信がなくなってきた。
- ・雪げたは無理かも。

- ・またばかにされるのでは。
- ・はずかしい
- ・今度は何を言われるのだろう。